

# 『幻の同盟』とその後

## —冷戦期のアメリカと中東—

《報告概要》1950年代のアメリカは、中東全域と西側陣営との間に水平的なパートナーシップに立脚する同盟関係を構築することを目指す「西側統合政策」と、中東産油国と西側世界との間に共通の利益の基盤を構築することを目指す「協調的石油秩序」を両輪とする、「同盟プロジェクト」を追求し、挫折した。同盟プロジェクトの挫折後、アメリカの中東政策は、個々の中東諸国を柔軟に操作することで西側陣営の利益を一方的に追求しようとする「オフショア・バランス政策」に移行した。本報告では、以上のような、『幻の同盟——冷戦初期アメリカの中東政策』の内容を概観した上で、70年代初めのイギリスの中東撤退に対するアメリカの政策と行動を瞥見し、「オフショア・バランス政策」の変容の一端も考察する。

本研究会では、小野沢透氏による報告に引き続き、討論者として現代トルコ外交を専門とする今井宏平氏とアメリカ外交史の研究を進める佐々木卓也がコメントを行う。(要事前申込)



### 講師

京都大学大学院文学研究科教授 **小野沢 透**



1995年京都大学大学院文学研究科博士後期課程退学。岩手大学人文社会科学部講師（1995-1999）を経て、京都大学大学院文学研究科准教授（現代史学専修）（1999-2017）、同教授（2017～）。この間、ジョージタウン大学客員研究員（文部科学省在外研究員、2002-2003）。単著に『幻の同盟——冷戦初期アメリカの中東政策（上・下）』（名古屋大学出版会、2016年。第22回清水博賞受賞）、共編著に『アメリカ史のフロンティアⅡ 現代アメリカの政治文化と世界——20世紀初頭から現代まで』（昭和堂、2010年）などがある。

### 討論者

日本貿易振興機構アジア経済研究所研究員 **今井 宏平**

立教大学法学部教授 **佐々木 卓也**

### 日時

2017年12月9日（土）14:00～17:00

### 会場

立教大学 池袋キャンパス 14号館 6階 D602 教室

**要申込** 参加ご希望の方は、Eメールでお名前・ご所属・ご連絡先（E-mail アドレス）をお知らせください。

主催・申込先：立教大学アメリカ研究所（ramins@rikkyo.ac.jp、03-3985-2633）